



瑞浪市青少年育成市民会議だより

第7号

笑顔あふれるみずなみ

「みとめて ほめて はげまして」 みんなの力で健やかに

〔発行〕 瑞浪市青少年育成市民会議
瑞浪市教育委員会社会教育課
TEL 68-5281（総合文化センター内）

〔編集〕 瑞浪市青少年育成市民会議
広報部会



成人式大賞（日本一）
の紹介



釜戸町民会議モデル地区（指定）
稲津陸上スポーツ少年団
美濃源氏大太鼓保存会子ども教室
陶剣道スポーツ少年団
～よろしくお祈りします。～



『ネット社会における子育て』
幸島美智子さんによる講演会
（2頁参照）

「ケータイ・インターネット 利用について」

瑞浪市青少年育成推進員長

小栗 隆

日頃は、本市民会議にご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。さて、昨年10月、県の「青少年健全育成条例」が改正され、携帯電話契約時のフィルタリングが義務化されました。

瑞浪市青少年育成市民会議でも、市のPTA連合会と連携しながら「瑞浪市ケータイ・ゲーム機・ネットに関する家庭のルール」を取りまとめ、今年5月の市民会議で承認されたところです。「決めて、守ろう！わが家のルール」を合言葉に、「わが家のプラス1ルール」を設定したところが瑞浪市の特徴です。

ケータイ・ネットについて家族で話し合いながら、「わが家のルール」作りを進めていただければと思います。

瑞浪の子どもの生活環境を整え、学習に集中できる環境をつくり、ネットの有害環境から守るために、皆様のお力添えをよろしくお祈りいたします。

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」街頭啓発活動

*市民会議の役員その他、MSリーダーズ、保護司会・更生保護女性の会、東濃西
部少年センター指導員、酒類小売販売組合の皆様にご協力をいただきました。



高校生が大活躍



フィルタリングをしましょう。



瑞浪駅前、ピアゴ、パローにて啓発グッズを配布(7月14日)

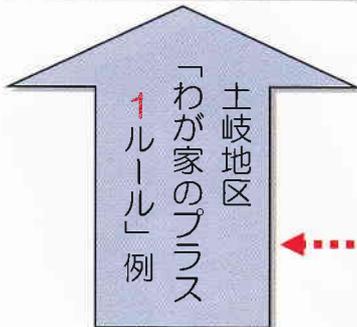
「ネット社会における子育て」(5・31 講演会より)

- ・「スマホを持つな」と後戻りはできない。リスクをきちんと教えること。(※子どもたちには判断力が育っていない。危うさを教えていかなければいけない。)
- ・ゲーム中毒症：抜けようと思っても抜けさせてくれない。韓国では死者も…(エコノミー症候群) ※依存症が気懸り。(食事中、トイレに入っても…)
- ・LINE：無料に誘惑されてはいけない。閉鎖性(グループトーク・グループチャット)に問題あり。
- ※既読：読んだら返事を返さない訳にはいかない。
- ※匿名は卑怯。(いじめの温床)
- ・スマホを持たせるからには親の責任。
- ・瑞浪市がルールを作った。(「素晴らしいこと」※救われる子がいる。
- ※先ず、地域から。家庭から。
- ・「我が家のプラスチックルール」↓例えば、「スマホを触らない日を作る」「スマホは親のもの。親に触られても文句を言わない」等々。
- ・大人が手本を見せよ。
- ※電車の中でケータイでなく、本を読む。メールを打つより手紙を書く等。



アンケート実施の様子

- ・ 高校生まで携帯は持たない
- ・ ゲームは一日30分以内
- ・ ゲーム機を他の部屋へ持っていかない
- ・ 暗い所ではやらない
- ・ お金の掛かるゲームはしない
- ・ 学校へ行く日はゲームをしない



「瑞浪市ケータイ・ゲーム機・ネットに関する家庭のルール」 ～決めて、守ろう！わが家のルール～

(H27. 5)

【瑞浪市PTA連合会・瑞浪市青少年育成市民会議】

★ケータイ・ネットの問題は契約者である親の責任です。

- ・ わが子の生活習慣を整え、学習に集中できる環境をつくろう。
- ・ わが子をネットの有害環境から守ろう。



【基本】

- ①必ずフィルタリングをする。



【時間・場所について】

- ②食事中や家族との会話中は使用させない。
- ③原則として、使用は夜9時までとし、携帯電話・スマートフォンやゲーム機などを預かる。
※各家庭で話し合い、使用時刻を決めましょう。
(例：塾のある日は夜10時まで、ない日は夜9時までなど)
- ④人の迷惑になるような場所(電車の中、病院内…)では使用させないなど、マナーを身に付けさせる。

【被害者・加害者を出さないため】

- ⑤自分の氏名、住所、電話番号などの個人情報を掲示板などに公開させない。
- ⑥ブログやプロフ、メールに友だちの悪口を書き込むなど、他人を傷つけるような使い方をさせない。
- ⑦送信者不明のメールや知らない人からのメールなど、不審なメールがきたときは速やかに親に報告させる。
- ⑧「メールによるいじめ」など、トラブルや心配ごとがあったらすぐに親や先生に相談させる。

【わが家のプラス1ルール】(各家庭でルールを決めましょう。)



◆「第18回土岐地区ふれあい夏祭り(H27・7・25)」会場内のアンケート調査結果より

- ① ケータイ・ゲーム機・パソコンの普及の状況は、当初の想定通り、小学校低学年(1・2年生)でも50%の児童が保有しており、同中学年(3・4年生)以上は、75%以上が保有していました。学年が上がることに、ケータイ・パソコンへの移行が進んでいることがわかりました。
- ② ①の傾向は、地区の規模に関係なく同様の結果と推測し、瑞浪市で作成した家庭のルールの普及は絶対必要と判断します。
- ③ 「瑞浪市ケータイ・ゲーム機・ネットに関する家庭のルール」の普及状況を調査したところ、小学生は約50%程度が知っており、1年目としてはますますの普及度と見ましたが、中学生は50%以下の普及度となり、周知方法を検討する必要を感じました。
- ④ 市の家庭ルールが有る事を知っている人の大半が、家庭のプラス1を決めており、感心しました。

土岐地区青少年育成委員会

第36回 瑞浪市

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---------|---------|--------------|---------|--------|---------|---------|---------|---------|--------|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ○ 内木 彩音 | ○ 田中 敦士 | ◎ 加知佑紀奈 | 高校生の部 | ○ 三宅 花奈 | ○ 六鹿 歩 | ○ 松原 由奈 | ○ 田中 琴乃 | ○ 奥村 稀良 | ○ 森本 愛加 | ◎ 堀 愛美 | 中学生の部 | ○ 川村 凌久 | ○ 小嶋 唯海 | ○ 曾我 美月 | ○ 青柳 佳夏 | ○ 溝口 慎二 | ○ 小野寺 葵 | ◎ 永井 凌花 |
|---------|---------|---------|--------------|---------|--------|---------|---------|---------|---------|--------|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|

出場者氏名

◎ 最優秀賞
○ 優秀賞



中学生の部最優秀・堀 愛美さんの主張

伝統をリレーする

稲津中学校 3年 堀 愛美

来年の春、私たちの母校である稲津中学校はなくなります。陶中学校と統合し、瑞浪南中学校という新しい学校ができるのです。私たち3年生は、稲津中学校の最後の卒業生になります。統合することによって、「稲津中学校」という名前、緑のジャージ、私が所属する卓球部。いろいろなものがなくなります。今まで親しんできたものがなくなるということは、とても悲しいことです。また、1、2年生にとっては、新しい仲間との出会いに、戸惑いや不安もあることでしょう。

しかし私は、「統合する」ことは、とても素晴らしいことだと思います。なぜなら、新しいものを生み出すチャンスだと思うからです。統合することで、新しい出会いが生まれます。今まで違う道を歩んできた二つの学校の生徒が出会うことで、様々な個性が集まり、アイデアがあふれる学校になると思います。統合は、自分たちの視野を広げ、生活を豊かにする素晴らしいチャンスなのではないでしょうか。私は昨年度、それを実感する経験をしました。

私たち3年生は、中学校1年生まで2クラスでしたが、3年生から1クラスになりました。それまで、1クラス20人ほどだったのが、2倍の40人に増えたのです。クラスがにぎやかになり、楽しさが増しました。それまで疎遠だった子とも仲良くなり、仲間の良さがたくさん見えてきました。また、学級会では、たくさんの意見が出るようになり、より深い話し合いができるようになりました。もちろん、良いことばかりではありません。人数が増えたことでまとまりにくくなったり、人任せにする姿が見られたりするようになりました。しかし、これらの問題は、みんなで団結し、指摘し合うことで乗り越えていけるものです。みんなで乗り越える度に、私たちは、確かに力をつけ、喜びを分かち合ってきました。だからこそ私は、統合は、私たち生徒にとって、大きな学びにつながる素晴らしいチャンスだと確信しています。

今年、私は、「今まで受け継いできた稲津中学校の伝統を引き継ぐ仕事がしたい」と思い、全校教科係長になりました。今年度の稲津中学校では、統合に向けて「3本柱+1」の取り組みをしています。「3本柱」とは、稲津中学校が代々大切にしてきた、挨拶、掃除、合唱です。仲間や先生、地域の方への挨拶、時間いっぱい無言で行う清掃活動、声の大きさや表情を意識して歌い、聴く人にメッセージを伝える合唱、これらは私たちの誇りです。そして、「+1本」とは、授業のことです。陶中学校では、挨拶、掃除、合唱に授業を加えた「4本柱」を伝統として掲げています。来年、瑞浪南中学校がスタートしたとき、同じものを大切にできるように、稲津中学校でも授業を柱に加えました。

願いと裏腹に、うまくいかないことも多々あります。「伝統」と言うには、実績も姿も伴っていません。改善すべきことばかりです。しかし、1年後に、「+1本」ではなく、「4本柱」として、瑞浪南中学校の全生徒が、新しい伝統として授業に誇りを持つことができるように、卒業する日まで、課題に向き合い、授業を高める活動をしていきたいと思っています。

そして、来年の4月からは、お互いの良さを持ち寄り、様々な意見を出し合いながら、新しい瑞浪南中学校をみんなで築いていってほしいと願っています。稲津中学校、陶中学校がそれぞれ大切にしてきた伝統を統合し、新しい伝統を生み出していくのです。その場に私たち3年生がいられないことは残念ですが、私たちには、先輩方から受け継いだ「3本柱+1本」をより確かなものにして、今の1、2年生に引き継いでいくという大切な役割があります。伝統をリレーする。この重大な役割を、稲津中学校最後の卒業生として、全校教科係長として、私は、誇りと責任を持って、精一杯果たしていきたいと思っています。

主張大会

H27・6・21(日)



司会の他、当日の運営に活躍していただいた高校生の皆さんです。

6月21日、瑞浪市総合文化センターにて、「第36回瑞浪市主張大会」が開催されました。市内小学校・中学校・高校の各代表が、約550名の聴衆の前で、自分の思いを力強く発表し、会場の参観者の共感を得ました。中学校の部の最優秀に選ばれた稲津中学校の堀さんは、東濃大会を経て見事県大会（可児市）に出場し、優秀賞に輝きました。

運営にあたっては、地域活動部会の皆さん、市内3校の高校生の皆さんに、ご協力をいただきました。また、横断幕作成は、今年も瑞浪高校書道部の皆さんにお願いしました。ありがとうございました。

☆☆ 出場者に インタビュー しました。☆☆

◎ 今日の主張は？

- * 登山中の母の怪我をきっかけに、改めて「家族の絆」を深めました。私は家族が大好きです。
- * 耳の聞こえない母に、手話通訳を通して力になりたいです。母のように強い人間になります。
- * 障がいをもった女の子と部活で3年間過ごしました。彼女との出会いが私を変えました。私は特別支援学校の教員になります。

◎ 今日の出来は？

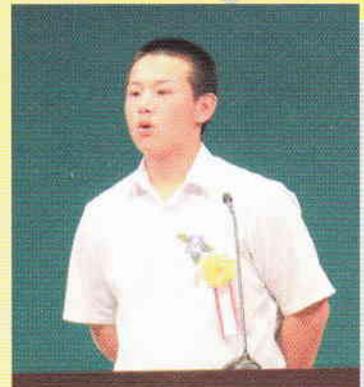
- * 緊張したけど、うまくできた。またやってみたい。
- * 焦らなかつたけど、足がふるえた。
- * 早口になってしまった。
- * 100点。昨夜はよく眠られた。

◎ 瑞浪市について

- * 大好き。(自然がいっぱい。人間がやさしい。)
- * にぎやかで活気のある町にしたい。
- * ごみのないきれいな町にしたい。
- * 化石、ゴルフ、バサラで有名。

◎ 将来の夢は？

- * 登山家。医者。看護師。保育士。サッカー選手。特別支援学校の教員。・・・
- * 手話を学びたい。外国人と交流したい。



瑞浪市青少年育成市民会議は、各地区町民会議の他、以下の諸団体に支えられています。

* 連合自治会 * P T A 連合会・中高保護者会 * 市内 P T A 母親委員会 * 子ども会連合会 * 小中学校校長会 * 幼稚園長会 * 保育研究協議会 * 小中高等学校生徒指導 * 中京学院大学 * 体育協会 * スポーツ推進委員会 * スポーツ少年団 * 瑞浪保護司会 * 民生児童委員協議会 * 瑞浪ロータリークラブ * 瑞浪青年会議所 * 瑞浪ライオンズクラブ * 社会教育委員 * 明るい社会づくり推進会 * 多治見警察署瑞浪警部交番 * 交通安全協会 * 少年センター指導員 * 教育委員会



会長 水野 光二 (瑞浪市長)

市推進員

小栗 隆
松浦 大哲
加藤 智一
田中 茂
厚見 八千代
安田 善一朗
鈴木 かおり
重田 博之
二村 博之
奥村 孝志
後藤 東

本部役員

熊谷 隆男
水野 昌代
中山 征治
勝山 康弘
平林 道博
後藤 東
加藤 博之
矢野 元子
五嶋 久年
館林 辰郎
奥村 孝志
加藤 智一
安田 善一
大山 理晴
羽柴 誠

家庭教育部会員

◎ 館林 辰郎
○ 小栗 隆
今井 敬博
小木 曾恵美
安藤 良一
岡本 裕樹
安江 明
稲垣 登代子
加藤 恭子
徳重 寿明
工藤 慎子
足立 弘文
西尾 えつ子
遠藤 直美
福岡 紀子
勝股 和子
安藤 由香
中島 陽子
安藤 雅哉
松浦 大哲
田中 茂

地域活動部会員

◎ 奥村 孝志
○ 鈴木 かおり
山田 幸男
溝口 和則
萩尾 英明
今井 浩光
馬場 大輔
三輪 武彦
加納 常男
愛知 孝夫
中野 啓一
岩永 真吾
小木 曾久榮
各務 和子
渡辺 千景
可児 恵太
有賀 政光
渡辺 章次
加藤 勝美
安藤 功

環境改善部会員

◎ 加藤 智一
○ 二村 博之
安藤 裕子
藤田 康之
三宅 滋郎
野上 利行
安藤 清信
藤田 政明
酒井 厚司
鈴木 和博
横山 知明
西山 武憲
伊藤 良子
工藤 誠
小木 曾文和
井上 永一
小栗 育子
伊藤 勝介
梶田 静子
後藤 東
重田 博之

広報部会員

◎ 安田 善一朗
○ 柴田 増三
加納 富雄
酒井 好博
羽柴 誠
下条 公寿
森本 幸正
羽柴 幸良
福田 道大
小栗 吉彦
近藤 浩二
小林 勝平
柴田 芳宏
加藤 正夫
伊藤 加代子
中島 恬
保母 哲也
加藤 安司
浅井 誠
厚見 八千代

☆編集後記

ケータイ・ゲーム機・ネットに関する市のルール策定を受け、早速土岐地区から取組の様子を寄せていただきました。今後、市P連、各学校の様子も随時紹介していく予定です。ご期待ください。

☆今後の主な年間行事予定

- ・ 11月 街頭啓発活動
- ・ 11月22日(日) 高校生と語る会
- ・ 2月 5日(金) 第2回四部会
- ・ 2月14日(日) 第2回青少年育成市民会議活動指定地区、団体活動発表

